

## 【技術文書を書く面白さを知る（技術文書を工夫して書く）（その2）】

### 1. なぜ、「技術文書を書くことが面白い」と思うのか？

「読み手に内容を明確に伝えるため技術文書をどのように書こうか？」と考えることで技術文書を工夫して書くようになるからです。

面白くなるために必要なことは「技術文書を工夫して書こう」という意識を持つことです。これは、「技術文書を書く面白さを知る（技術文書を工夫して書く）（その1）」で書いた「好きこそもの上手なれ」ということです。

### 2. 面白くなるための2つの条件

面白くなるための条件が2つあります。そこで、この2つの条件について解説します。

#### 2.1 条件その1：「内容が明確に伝わる技術文書の書き方」を学ぶこと

特に、以下の2つの書き方の理解が重要です。

- ①内容が明確に伝わる技術文書の書き方の3原則
- ②6つのルールと18の書き方

| 【内容が明確に伝わる技術文書の書き方の3原則】 |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| ◆                       | 第1原則：書き手と読み手の違いを認識する  |
| ◆                       | 第2原則：内容が明確に伝わる構成を考える  |
| ◆                       | 第3原則：内容が明確に伝わる書き方を考える |

【6つのルールと18の書き方】

| ルール  |            | 書き方と内容 |             |
|------|------------|--------|-------------|
| ルール1 | 冒頭に書く      | 書き方1   | 要点を冒頭に書く    |
|      |            | 書き方2   | 全体像を冒頭に書く   |
|      |            | 書き方3   | 枠組みを冒頭に書く   |
| ルール2 | ペアで書く      | 書き方4   | 根拠を書く       |
|      |            | 書き方5   | 条件を書く       |
| ルール3 | 分けて書く      | 書き方6   | かたまりに分けて書く  |
|      |            | 書き方7   | 箇条書きで書く     |
|      |            | 書き方8   | 表で書く        |
| ルール4 | 視覚的に書く     | 書き方9   | 写真や図を入れて書く  |
|      |            | 書き方10  | 強調して書く      |
|      |            | 書き方11  | まとまりを持たせて書く |
| ルール5 | 合わせて書く     | 書き方12  | 組み合わせで書く    |
| ルール6 | 明確に伝わる文を書く | 書き方13  | 具体的な文を書く    |
|      |            | 書き方14  | 意味が明確な文を書く  |
|      |            | 書き方15  | 能動態の文を書く    |
|      |            | 書き方16  | 短い文を書く      |
|      |            | 書き方17  | 肯定文を書く      |
|      |            | 書き方18  | 文法を守って文を書く  |

## 2.2 条件その2：読み手の存在を認識すること

読み手の存在を認識することで、「読み手に内容を明確に伝えるため技術文書をどのように書こうか？」と考えます。この読み手の存在の認識には、「内容が明確に伝わる技術文書の書き方の第1原則：書き手と読み手の違いを認識する」の理解が必要です。すなわち、「書き手とは“知っている人”」、「読み手とは“知らない人”」という理解です。

「読み手に内容を明確に伝えるため技術文書をどのように書こうか？」についての具体的な内容は、例えば、以下のようなことです。

- \* どのような構成（ストーリー）にしたら、読み手に内容が明確に伝わるか？
- \* どの書き方を使って構成に肉付けしたら、読み手に内容が明確に伝わるか？
- \* 「どの書き方」と「どの書き方」を組み合わせたら、読み手に内容が一層明確に伝わるか？

読み手の存在を認識せずに、書き手の視点（書き手の立場）で書いても「技術文書を書くことが面白い」とは思いません。「どのように書こう？」と工夫せずに頭の中にあることを単に書き出すだけだからです。つまり、技術文書を書くことが単なる作業になるからです。単なる作業になったら「面白い」とは思いません。

「読み手の存在の認識＝技術文書を書くことが面白い」という等式が設立します。

以 上